

わくわくとしょかん

第125号(2014年早春号)編集発行:福島市立図書館児童室 でんわ531-6551



おはなしかいにあそびにきてね!



〈どようびのおはなしかい〉

★2月は1・8・15・22日
★3月は1・8・15・22・29日
(毎週土曜日)

【じかん】1部 2:30~(4さい~)
2部 3:00~(小学生~)
【ぼしょ】1かい じどうしつ

〈おひざにだっこのおはなしかい〉

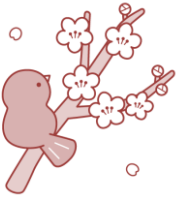
★2月・3月ともに20日
(毎月第3木曜日)

【じかん】10:30~
(3さいまでのお子さんと保護者)
【ぼしょ】1かい じどうしつ

〈ファミリーえいがかい〉

★2月・3月ともに9日(毎月第2日曜日)

【じかん】2:00~ 【ぼしょ】3かい かいぎしつ
【プログラム】2月…「みすず」/3月…「ムッチャンの詩」



2月

としょかんカレンダー



3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	④	5	6	7	8
9	10	11	⑫	13	14	15
16	17	⑮	19	20	21	22
23	24	⑳	26	27	㉘	

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	④	5	6	7	8
9	10	⑪	12	13	14	15
16	17	⑮	19	20	㉑	22
23	24	㉓	26	27	28	29
30	㉓	31				

■…市立図書館・蓬萊・清水・吾妻・飯坂・もちずり・北信学習センター図書室はおやすみです。

○…子どもライブラリーはおやすみです。

※その他の学習センターについては、各図書室にお問い合わせください。

あたらしいほん

E (えほん)

『きいてるかいオルタ』(E ナカガ)
中川 洋典/作・絵 童心社



オルタは、ぼくがつくったかみねんどのにんぎょう。はなしのわかるいいやつで、ぼくのなやみをきいてくれるんだ。
ぼくはからだがちいさくて、うんどうもにがて。あたらしいクラスであたらしいともだちができれば、ぼくもかわることができるかな？

『もじゃひげせんちょうとかいぞくたち』(E マイヤ)
コルネーリア・フンケ/文 ケルスティン・マイヤー/絵
ますが ちかこ/訳 WAVE出版



かいぞくのもじゃひげせんちょうは、せかいじゅうのふなのりたちからおそれられています。あるひ、もじゃひげがおそったのは、ちいさなおんなのこモリーのふね。もじゃひげはモリーをつかまえて、みのしろきんとろうとかんがえませんが…。

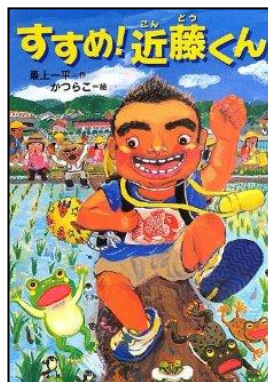
『「ニャオ」とウシがなきました』(E ドッド)
エマ・ドッド/作 青山 南/訳 光村教育図書



ウシのなき声はモー。ネコのなき声はニャン。のはずですが…。この本に出てくる動物たちは、ひつじがワン。うまがガー。私たちの知っているなき声とちが違います。どうしてなんだろう？

Y (よみもの)

『すすめ！近藤くん』(Y913 モガミ)
最上 一平/作 かつらこ/絵 WAVE出版



小学生の近藤くんは、いつも元気いっぱい。じぶんではつめいた遊びを教室でみせようとして、つくえやいすをひっくりかえしたり、とてもさわがしい。ある日、気になっているとなりのせきの女の子、あいちゃんをよろこばせようと、小さなあまがえるを教室に連れてきて、たいへんなことに…。

『パン屋のこびととはりねずみ』(Y949 シュミ)
一ふしぎな11のおとぎ話』(Y949 シュミ)
アニー・M. G. シュミット/作 西村 由美/訳 徳間書店



パン生地こびとはパン屋にすんでいます。ゴキブリやネズミをおいはらったりパンくずを食べてくれる、いいこびとです。ところが、ふきげんなパン屋さんがこびとをどなりつけてしまったから、さあたいへん！パン生地がハリネズミにかわってしまい…。ゆかいでふしぎなおはなし集です。

『翼のはえたコーヒープリン』(Y913 ニシム)
西村 友里/作 三村 久美子/絵 国土社



絵里のパパは評判のケーキ屋さん。けれど、パパが作ることはできるのはコーヒープリンだけ。プリンを作りおわると、顔の見える手作り着ぐるみでお店のチラシ配りをしている。その姿を、クラスメイトにからかわれてから、絵里は着ぐるみをやめてほしくてしょうがないのだけれど…。

B (そのた)

『図書館のトリセツ』(B01 フクモ)
福本 友美子・江口 絵里/著 スギヤマ カナヨ/絵 講談社



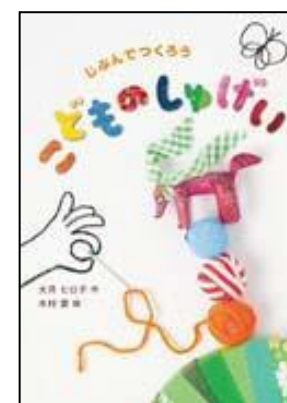
トリセツとは取扱説明書のこと。この本では、本の並び方の決まりやラベルの秘密、おもしろい本の見つけ方、自由研究や調べ学習の仕方など、図書館の利用方法をわかりやすく教えてください。トシヨくん、カンコちゃんといっしょに図書館を使いこなしちゃおう！

『江戸のお店屋さん』(B67 フジカ)
藤川 智子/作 ほるぷ出版

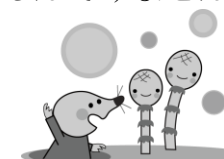


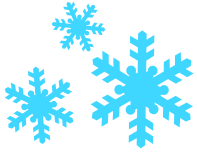
江戸時代の町には、どんなお店があって、どんな物が売られていたのでしょうか。化粧品や髪かざりを売っている「小間物屋」、外国から運ばれてきためずらしい物をあつからものや、唐物屋、現在の本屋と出版社がひとつになった「地本問屋」など、お店の外側と内側の様子を楽しいイラストで紹介しています。

『じぶんでつろう こどものしゅげい』(B59 オオツ)
大月 ヒロ子/作 木村 愛/絵 福音館書店



もう着れなくなった古い服、リボンの切れはし、あまった毛糸…。身のまわりにあるものを、切ったりむすんだりするだけで新しく生まれ変わります。かんたんにできるしゅげいを楽しんでみませんか。





かぞくのほん



『きょうはなんのひ?』 (E ハヤシ)

瀬田 貞二／さく 林 明子／え 福音館書店

まみこちゃんは、がっこうに行くまえにおかあさんになぞかけをしました。
「きょうはなんのひ? しらなきや かいだん 三だんめ」おかあさんが、
かいだんにいってみるとそこには、てがみが。そしてまた、てがみが。
きょうはなんのひなののでしょうか?



『ママ!』 (E タカバ)

キム・フォップス・オーカソン／さく 高畠 那生／え
枇谷 玲子／やく ひさかたチャイルド

ぼくのママはすごくふとってる。ゾウみたいにふとってる。そんなママが
いやになったぼくは、となりにすむ、おんなのひとのこどもになることに。
すると、「ママ」ってことばがでなくなっちゃって…。



『オオくんとかいなかぞく』 (Y913 カドノ)

角野 栄子／さく 大島 妙子／え ポプラ社

オオくんのかぞくは、ちよつとかわっている。おばあちゃんがミミズと
ともだちだったり、いえのなかにオバケがいたり。オオくんの
たのしいかぞくしょうかいがはじまります。



『ずーつとずつとだいすきだよ』 (E ビルヘ)

ハンス・ウィルヘルム／え・ぶん 久山 太市／やく 評論社

いぬのエルフィーとぼくはいっしょにおおきくなった。でも、エルフィーの
ほうがずつとはやく、おおきくなって、としをとった。ぼくは、ねるまえに
かならず、エルフィーに「ずつとだいすきだよ」っていってあげるんだ。

